

# バイパス整備により病院アクセス、通学路の交通安全が向上!

## ①市民病院へのアクセス向上!

・バイパスの開通により、山陽小野田市北部から、市民病院へのアクセスが向上しました。長田屋橋交差点 → 市民病院までの所要時間が最大2分短縮されました。

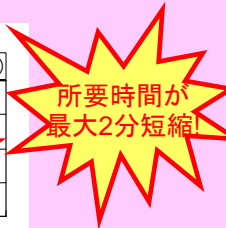
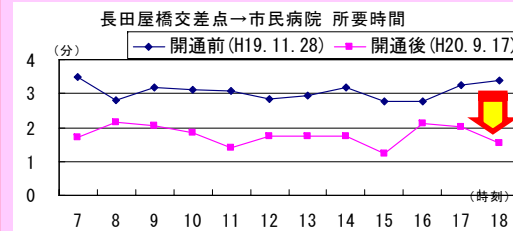
## ②通学路の交通量が減少!

・バイパスの開通により、渋滞を回避するための抜け道となっていた通学路の交通量が、減少しました。



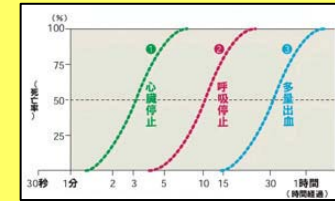
## ①市民病院へのアクセス向上!

＜消防本部の声＞バイパスを利用することで、混雑する新生町交差点や旭町交差点を回避することができたため、市内北部から市民病院までの救急搬送時間が大幅に短縮した。



## ※※※カーラーの救命曲線※※※

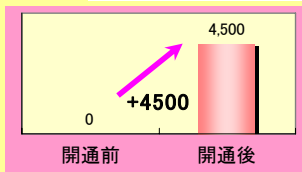
- ①心肺停止後約3分で50%死亡
- ②呼吸停止後約10分で50%死亡
- ③多量出血後約30分で50%死亡



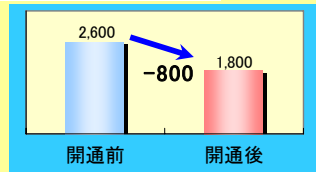
## ②通学路の交通量が減少!

＜小学校の声＞一部通学路となっている市道(国道190号～市民病院前)が、渋滞を回避するための抜け道となっていたが、バイパスが供用してから交通量が減少し、児童の交通安全が向上した。

### ＜開通前後の交通量変化＞



県道妻崎開作小野田線 (開通区間)



市道日の出町旭町線 (調査日:開通前 H19.11.28開通後 H20.9.17)



市道日の出町旭町線 2009.6.撮影

将来、バイパス全線が開通すると、渋滞緩和など、さらなる交通の円滑化が期待されます!

＜利用者の声＞有帆川以南から高速ICにアクセスする路線が、県道小野田港線だけで、企業関連の大型車交通や大型商業施設への買い物交通、沿線地域に住んでいる方の生活交通等が輻輳していて、渋滞だけではなく、安全上の問題も顕在化しているため、早期の有帆川架橋の整備により、地域の安全性向上を強く望む。



バイパス南側より撮影 2009.6.